暴風、波浪、大雪の災害に対する緊急アピール

昨年 12 月下旬と年末年始にかけての岩手県の沿岸と北部を中心とする暴風、波浪そして大雪は、農林水産業はもとより、道路などの生活基盤にも大きな被害をもたらした。特に沿岸では、昨年 2 月のチリ中部沿岸の地震による津波に加えて、度重なる災害を被った。

私たち岩手県民は、過去にも大きな災害を繰り返し経験してきたが、豊かな自然の恵みと、人と自然との共生、そして人々の結（ゆい）の精神により、屈することなく、必ず乗り越えてきた。

このたびの災害についても、県民は元気を出し、既に復興に向けて確かな足取りで歩み出している。

オール岩手の官民協働のネットワークである「いわて未来づくり機構」は、広く県民が、被害にあわれた地域の産品を購入、愛用することなどにより、地域の復興に手を差し伸べることを会員とともに緊急にアピールするものである。

平成２３年１月３１日

いわて未来づくり機構ラウンドテーブル
永野勝美
藤井克己
達増拓也
甘竹秀雄
谷村邦久
中村慶久